

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成25年11月7日(2013.11.7)

【公表番号】特表2013-505008(P2013-505008A)

【公表日】平成25年2月14日(2013.2.14)

【年通号数】公開・登録公報2013-008

【出願番号】特願2012-529295(P2012-529295)

【国際特許分類】

C 1 2 N	15/09	(2006.01)
C 1 2 Q	1/68	(2006.01)
C 1 2 M	1/00	(2006.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 P	37/04	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 K	39/00	(2006.01)
A 6 1 K	39/39	(2006.01)
G 0 1 N	33/53	(2006.01)
G 0 1 N	37/00	(2006.01)

【F I】

C 1 2 N	15/00	Z N A A
C 1 2 Q	1/68	A
C 1 2 N	15/00	F
C 1 2 M	1/00	A
A 6 1 K	45/00	
A 6 1 P	37/04	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 K	39/00	H
A 6 1 K	39/39	
G 0 1 N	33/53	M
G 0 1 N	37/00	1 0 2

【手続補正書】

【提出日】平成25年9月13日(2013.9.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

レスポンダーとして特徴付けられる患者を治療するための医薬の調製における、腫瘍関連抗原を含む組成物の使用、ここで該患者は以下の工程、

(a) 患者由来のサンプルを、PSMB9, RNF144B, STAT1, TNFRSF9, 及びTOXからなる群より選択される1つ以上の遺伝子の遺伝子産物の発現差異について分析すること；および

(b) 工程(a)の結果に基づき、前記サンプルが由来する患者を、レスポンダーまたはノンレスポンダーとして特徴付けること

によりレスポンダーと決定される、前記使用。

【請求項2】

前記特徴付け工程が、標準もしくはトレーニングセットを参照することによりまたは標

準もしくはトレーニングセットとの比較により実施される、請求項 1 に記載の使用。

**【請求項 3】**

前記標準が、公知の臨床成績を有するサンプルである、請求項 1 または 2 に記載の使用。

**【請求項 4】**

前記比較が標準またはトレーニングセットから得られたパラメータを有するアルゴリズムを使用することにより実施される、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の使用。

**【請求項 5】**

患者をレスポンダーとして決定する工程及び該患者を療法のために選択する工程をさらに含む、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の使用。

**【請求項 6】**

癌治療に対するレスポンダー又はノンレスポンダーの特徴付けのための、PSMB9, RNF144B, STAT1, TNFRSF9 及び TOX からなる群より選択される 1 以上の遺伝子の発現差異の同定のためのプローブの使用。

**【請求項 7】**

請求項 1 に記載の組成物がさらにアジュバントを含む、請求項 1 に記載の使用。

**【請求項 8】**

前記療法が MAGE A3 免疫療法である、請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 項に記載の使用。

**【請求項 9】**

該アルゴリズムが PSMB9, RNF144B, STAT1, TNFRSF9 からなる群から選択される 1 以上の遺伝子と表 1 に記載の 1 以上の遺伝子とを組み合わせて用い、かつ該遺伝子がトレーニングセットにおける変化に対し抵抗性である、請求項 4 に記載の使用。